

第9回 市長まちかどトーク

日時 令和4年11月11日（金）

11:00～12:30

場所 行橋高校

参加者 福岡県立行橋高等学校生活デザイン科
の皆様

テーマ：教育・健康・福祉について



市長まちかどトーク第9回目は、「行橋高等学校生活デザイン科」の皆様との90分間の意見交換でした。まず参加された皆様からのご意見を頂き、その後市長がお話しました。内容を抜粋して掲載しております。

<行橋高等学校生活デザイン科の皆様のご意見>

1. 教科課題研究で高齢化率が上がっていることを知り、認知症を少しでも予防できる事はないかと調べたところ、認知症カフェを知りました。今後高齢者へのアンケート結果をもとに交流会を予定し、実際に授業では学べないことを体験出来ると思う。実際に親や祖母が認知症になったら認知症カフェに行き楽しくすごしてもらいたいし、サポートしたいです。
2. 行橋市のバリアフリーについては、福祉分野でバリアフリーが整っていない問題を改善したいと思いました。行橋市内の現状を把握し不便な所をマップに作成し、みんなの目の届くところに掲示したいです。行橋市役所や駅も調べました。住みやすい街にするために、バリアフリーについてみんながもっと知り身近な事として考えることが大事だと思います。
3. いろいろな問題を持つ人に暮らしやすい社会になってほしい、個人個人がみな平等でありお互いに尊重出来ることを目標に研究しアンケート（LGBTQ、性的マイノリティ等）も校内でとったところ人によって知識や興味に違いがあることが考察されました。

<市長のコメント>

- ・認知症は社会的に大きな問題だと思うので、認知症について研究されたことは大変素晴らしいことだと思います。
- ・私も車いすにのったことがあります、いろんな障がいがあることが分かりました。日本は先進国でも道がせまいといわれるので、一緒に街を作っていくことに参加していただきたいと思います。
- ・LGBTQ、性的マイノリティ、一言で言うと多様性（ダイバーシティ）。みんなそれぞれ違うことを認めましょうということ。性的マイノリティ については学生服も選択できるようになってきています。一番重要なのは、その人が幸せであるかということだと思います。